

令和 4 年度 漁業の担い手確保の取組

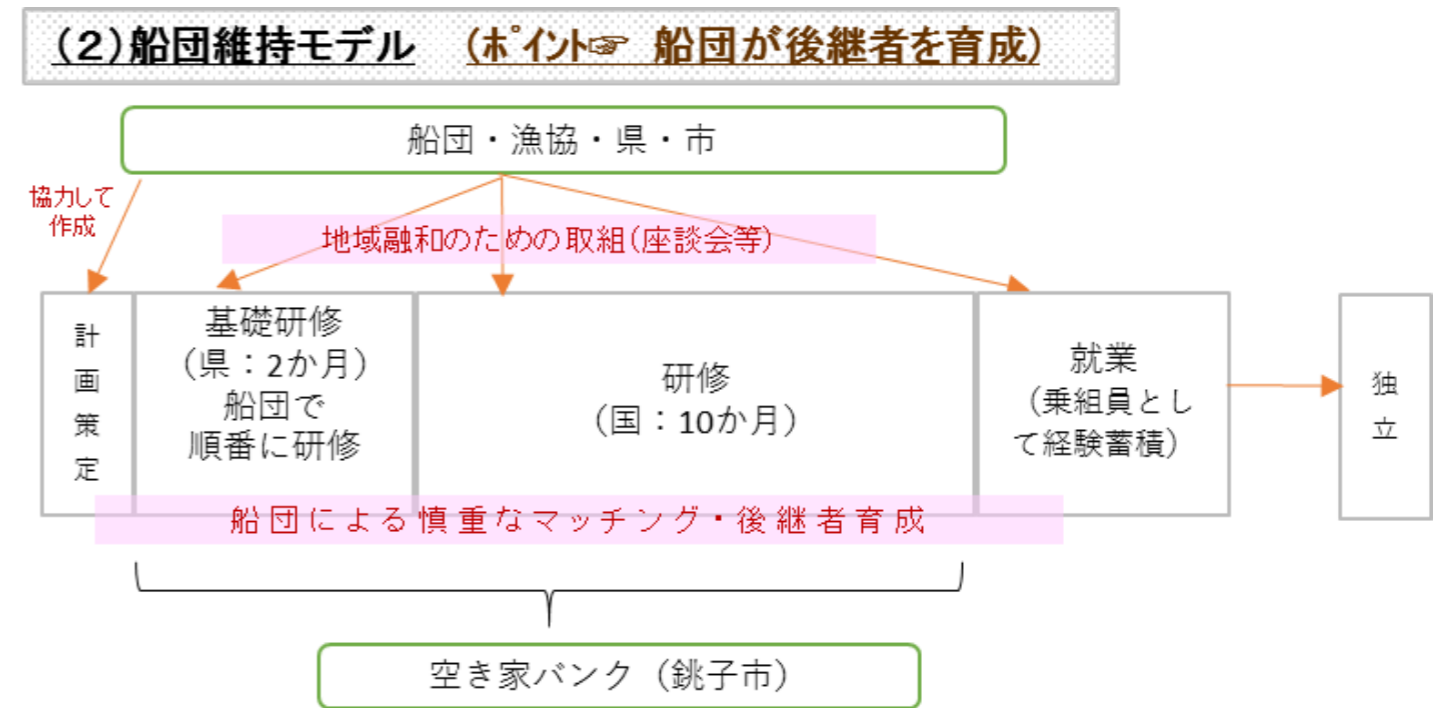
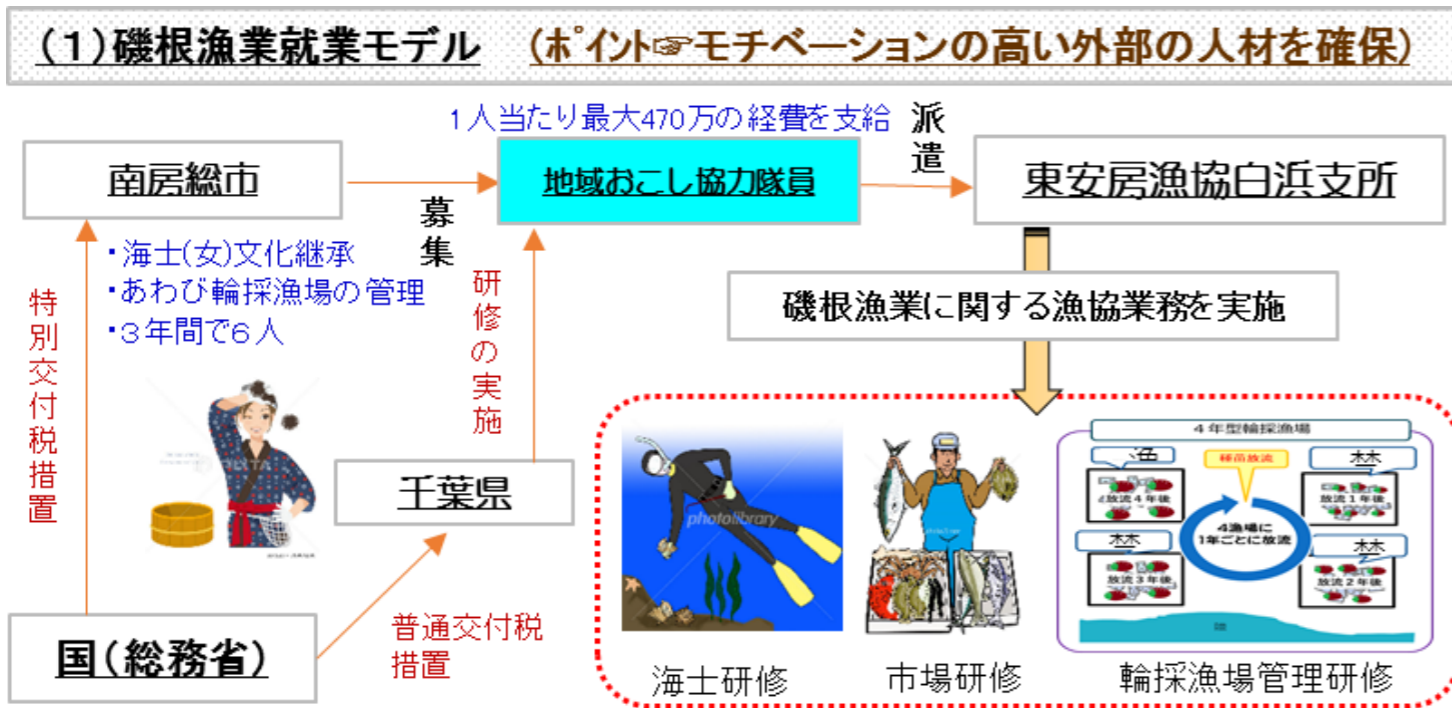
1 新規就業者定着化モデルケース支援事業 1,147 千円 (県)

【磯根漁業就業モデル】

漁協に配置される「地域おこし協力隊員」として、漁業や漁場管理などの漁協での実地研修を受け、地域に馴染みながら海士として地元定着を目指す。

【船団維持モデル】

船団等と漁協、県、市が協力し、複数の漁業者による丁寧なマッチングを行いながら漁業技術を習得・研鑽させ、数年後の独立を目指す。



2 就業相談から体験・研修、定着までの段階的な支援の実施 2,363 千円 (県)

- ・ 就業相談：求人情報の掲載、就業支援パンフレットの活用、漁業就業相談会の開催等
- ・ 体験漁業：高校生による水産業インターンシップや社会人を対象とした短期漁業技術研修
- ・ 漁業研修：県の中長期漁業技術研修や「千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会（事務局：県漁連）」による国の長期研修
- ・ フォローアップ研修：新規就業者の地域への融和や確実な定着を図るため研修